

第5学年 道徳学習指導案

指導者 永野 真

1 日時 平成23年10月26日(水) 公開授業I

2 学年・学級 5年1組 31名

3 主題名 「目標に向かって生きる」 内容項目 1-(2)

4 ねらい 夢をかなえた人の背景にはかくれた努力があったということを知った主人公の心の変容を考えることを通して、より高い目標を設定しそれに向かって努力していくことが大切であることに気づかせ、今なすべきことを懸命に頑張ろうとする心情を育てる。

5 資料名 「あなたの夢をかなえるために」 (自作資料)

6 主題設定の理由

○ 主題観

夢や希望を持つことは、毎日の生活に潤いと充実感を与え、健康な生活を送る重要な要素である。豊かな人生の実現のためには、さまざまな生き方に関心を持ち計画的に努力目標を立て、くじけずに勇気を持って取り組み、その理想に向かって着実に前進していこうとする強い意志と実行力が必要である。人は夢や希望を持つからこそ行動を起こすことができるのであり、できると信じることで成功する可能性はゼロではなくなる。

もちろん自信を失ったりくじけたり、挫折を味わったりすることもあるが、希望と勇気を失わず絶えず自分と向き合いながら打ち勝っていく強い心を育てなければならない。人生をより豊かに実りあるものにして行くため、夢や希望、理想に向かって着実に前進していこうとする心を育てることは不可欠であると考え、本主題を設定した。

○ 児童観

本学級の児童は、全員が夢を持っている。「将来したいことがある。」「つきたい仕事がある。」という夢や希望を持っている。それはスポーツであったり、ピアノの演奏であったり、そろばんやボランティア活動であったり、ダンスや絵画への興味であったり実にさまざまである。高学年は高い理想を追い求める時期だといわれる。特定の人物の生き方にあこがれたり、自分の夢が大きく膨らんだりする時期でもある。日常会話の中で「将来のこと」を話題にしていることも多い。しかし、その夢の実現に向けて具体的な行動をとっているかということになると、多くの児童が返答に困ってしまう。もちろん習い事の延長上にその夢があり、「毎週練習しています。」という児童はいる。だが、練習日だけではなく、日常生活の中での勉強や運動、生活習慣を夢に結びつけ積極的に生き生きとしている児童は少ない。

また、自分の力に自信が持てなくなったり、現実と夢との違いを意識したりする時期でもあり「どうせだめだよ。」という声も聞くことがある。夢や希望を持つことが成功へのスタートであり、やろうとすることがすでに可能性を生み出していることに気づかせたい。さらに、挫折も克服してあきらめない粘り強さも人間の強さの一つということについても考えさせていきたい。

そして、道徳的価値の内面化、一般化を図り、高学年の自分は将来の夢のスタートラインに立っていることに気づかせ、学校生活や家庭生活の中で頑張るべきことを見つけ取り組んでいこうとする心情を育てたい。

○ 指導観

本資料はピアノの練習から逃げ出した女の子が、音楽家として夢をかなえたお姉さんにも努力の練習の日々があったことを知り、再び目標を持って頑張っていこうとする姿を描いている。自分の夢に向かって日々頑張ることの大切さについて考えることができる資料であり、児童が自分の体験を重ねながら、ねらいに迫ることができる資料である。

指導に当たっては、事前に、児童がどんな夢や希望を持っているのか、またそれぞれがどのようなことに自信を持ち、どんな特技を持っていると自負しているかを把握して、実態を踏まえて授業に臨むこととする。また、世界で活躍するスポーツ選手など、夢を追いかけた人のニュースや情報などを教室に掲示したり、日常の話題に取り上げたりして「夢を追う」ということに対する興味関心を高めておきたい。

また、導入で各々の夢について交流させ、ねらいとする道徳的価値への方向性を持たせたい。中心発問では、ピアノを弾く主人公の心の中を考え、お姉さんによって気づかされた自分のあまさを、弱さ、そして勇気について「ぞんぶんに話し合う」ことで、ねらいに迫っていききたい。

特に、体験の生かし方、取り入れ方としては、下記の通りとする。

導 入・・・どのような夢を持つのか紹介するなかで、夢に関わる資料への導入を図る。

展開前段・・・主人公の気持ちを共感的に捉えさせるために、「似たよう経験はないか。」など補助発問や切り返しの発問をし、自分の体験と関わらせて考えさせる。

展開後段・・・生活を振り返り、「夢の実現に向けてがんばっていること」「くじけそうになったけれど頑張ったこと」について、自分の体験を出し合わせることにより道徳的価値の自覚を図っていく。また、教師からも目標に向かって頑張った児童の姿を紹介するなどして、道徳的実践意欲を持たせる。

終 末・・・ゲストティーチャーによる体験談を自分の生活と関わらせながら聴かせる。また、夢を実現させるために頑張った人の本格的な楽器演奏を聴かせ、感動の余韻を持って終わる。

7 言語活動の充実に向けて（「みやぞの響きあいプラン」の具体的な活用）

① みんなが考えを持つ	中心発問において、ピアノの練習を再開させた時の主人公の心情についてペアトークをすることにより、自分の考えを持たせる。
② やさしく聞き合う	クラストークで、ピアノの練習を再開させた時の主人公の気持ちを交流し合うことにより、道徳的価値についての理解を図る。
③ ぞんぶんに話し合う	(指導過程に提示)
④ ノートやワークシートにまとめ深める	振り返りにおいて、宮園小オリジナル「心のノート」に自分が乗り越えるべき壁を書かせることにより、自分の生活を見つめさせ、自分とのかかわりで道徳的価値をとらえさせる。

8 準備物

短冊・場面絵・宮園小オリジナル「心のノート」

9 総合単元的な道徳学習構想図

総合主題名	目標に向かって生きる	実施期間	平成 23 年 9 月～11 月
めざす子ども像	目標を設定し、その実現に向けて今できることを頑張ろうとする子	中心項目 関連項目	1 - (2) 希望・勇気 1 - (5) 創意工夫 1 - (6) 個性の伸長
体験に視点をあてた活動 教科・特別活動・総合他		体験に視点をあてた道徳の時間	
<p>①特別活動 「運動会を成功させよう」</p> <p>運動会の到達目標を設定し、それに向けての練習計画をたて、やる気を充実させる。 1 - (2) 希望・勇気</p>	<p>②主題名 「高い目標を持って」</p> <p>内容項目 1 - (6) 個性の伸長 資料名 「はげましあい」 ねらい 友達と比べて自分の個性について悩む主人公の姿を通して、苦手なことでも投げ出さないうで取り組むことの大切さに気づかせ、高い目標を掲げ、努力しようとする心情を育てる。</p>	<p>① 運動会の目標達成までにどんなことをしたらいいのだろう。</p> <p>② 少し高い目標を持ってみよう。</p> <p>③ 自分の個性を生かした仕事ができるのは素晴らしいことだ。</p>	
<p>③社会科 「日本の工業生産」</p> <p>自動車産業の様子を調べる活動を通して、高い目標を達成するための努力や仕事に個性を生かすことの大切さなどを学ぶ。 1 - (6) 個性の伸長 1 - (2) 不とう不屈</p>	<p>④主題名 「目標に向かって生きる」(本時)</p> <p>内容項目 1 - (2) 希望・勇気 資料名 「あなたの夢をかなえるために」 ねらい 夢をかなえた人の背景にはかくれた努力があったということを知った主人公の心の変容を考えることを通して、より高い目標を設定しそれに向かって努力していくことが大切であることに気づかせ、今なすべきことを懸命に頑張ろうとする心情を育てる。</p>	<p>④ 自分がやりたいと思う気持ちを大切にしてい高い目標を持ってしんどくても頑張ってみよう。</p> <p>⑤ 地域には夢を実現した先輩がたくさんいる。その人からいろんなことを学んで自分も成長したい。</p>	
<p>⑤総合的な学習の時間 「地域の人々と共に」</p> <p>夢を持ち努力してきた地域の先輩から話を聞くことにより高い目標を設定して頑張っていこうとする心情を育てる。 1 - (2) 希望・勇気 1 - (6) 個性の伸長</p>	<p>⑥主題名 「新しい分野を」</p> <p>内容項目 1 - (5) 創意工夫 資料名 「ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ」 ねらい 問題を解決するために大切にしたいことは何かを考えることを通して、目標を持って考え、努力することの大切さに気づかせ、積極的に新しい分野を切り開こうとする心情を育てる。</p>	<p>⑥ 新しいことにも挑戦し、自分の可能性も信じて今できることを一生懸命頑張っていこう。</p>	
<p>目標を設定し、その実現に向けて今できることを頑張ろうとする子</p>			

10 指導過程

段階	学習活動	おもな発問と児童の心の動き	指導上の留意点	体験を言葉で生かす指導 ☆体験を引き出す発問
導入	1 資料に関わる体験を引き出す。	○ あなたの夢は何ですか。 ・サッカー選手。 ・バレーボールの選手。 ・カメラマン。	○ 就きたい職業ややってみたいことなど自由に夢を語らせる。	○ 自分の夢は何か改めて考えてみる。
展開前段	2 資料を読んで話し合う。	<p>○ 縄跳び遊びをしている時の花音はどんなことを考えているでしょう。 ・ピアノの練習なんて面白くない。 ・もうやめてしまおうかな。 ・どうしてうまく弾けないんだろう。 ・私には才能がないんだ。 ・なんだかすっきりしない。 ・練習しなきゃいけないけれど、どうしよう。</p> <p>○ お姉ちゃんに「一緒に練習しよう。」と誘われたのに、逃げ帰った花音はどんなことを思ったのでしょうか。 ・ピアノはしたくない。私には無理だ。 ・お姉さんは才能があるけど私には才能がない。 ・お姉ちゃんに見られるのは恥ずかしい。</p> <p>◎ 家へ帰って花音さんがピアノの練習を再び始めたのは心の中で何を考えてからだったか。</p> <p>◎ ぞんぶんに話し合う。 価値に関わる児童の反応を掘り下げることにより、自分の体験と結びつけたり、友達の意見と自分の考えとの相違を明らかにしたりしながら、ピアノの練習を再開する主人公の気持ちを話し合わせる。 (子どもの姿) 夢の実現は遠い将来だと思っていた児童が少し高いと思われる目標を設定し、それに挑むのは今日からスタートだということに気づき、頑張って行こうという気持ちを持つことができる。</p>	<p>○ 場面絵を提示しながら読み聞かせし、場面ごとの心の変化を捉えさせるようにする。</p> <p>○ 投げ出した気持ちに共感させる。</p> <p>○ 切り返しの発問で考えを深める。</p> <p>○ 練習から逃げていた時の気持ちと対比させる。</p>	<p>○ 難しいことから逃れたいときの心情を考えてみる。</p> <p>☆ 主人公と同じような経験はないかな。</p> <p>☆ 練習していて何度も失敗したらどんな気持ちになるかな。</p> <p>☆ お姉さんたちはなぜ、そんなにがんばり続けることができたのでしょうか。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・私にもやればできるかもしれない。 ・私は夢を実現できているだろうか。 ・目標をもう一度考えてみよう。 ・高学年だから夢の実現への努力はもう始まっている。 ・私も夢に向かってしんどくても努力してみよう。 		<p>○ 励まされた体験を引き出す。</p> <p>☆ 再びやる気が出てきた体験があるかな。</p>
展開後段	3 生活を振り返る。	<p>○ 夢に向かって「がんばっている」ということはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球の選手になりたいので少年団でがんばっている。 ・カメラマンになりたいので飼っている猫を撮って練習している。 	○ 宮園小オリジナル「心のノート」を活用する。	<p>○ できるだけ具体的に語らせる。</p> <p>☆ あきらめそうになったけれどくじけなかった体験はないかな。</p>
終末	4 ゲストティーチャーの話と演奏を聴く。	<p>○ 夢をめざすみなさんに向けたゲストティーチャーからのお話を聞きましょう。</p> <p>○ ゲストティーチャーの演奏を聴きましょう。</p>	○ 感動と余韻を持って終わる。	○ 自分の夢を考えながら聞かせる。

1 1 板書計画

